

保育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自発性のある子どもに育てる。</li> <li>・何にでも興味を持ち、探究心を持って考える姿勢を育む。</li> <li>・美しい物・音・声などを見たり聞いたりして、情緒を豊かにする。</li> </ul>
------	---

一 当園知的教材研究、指導講師（平田匡邦先生）による評価

幼稚園教育課程と保育指針の内容を確認し、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高めるとともに、保護者のニーズを確認することで、本園がこれから担う役割について検討する。

重点項目	具体的な取り組み	自己評価と課題	平田先生
幼稚園教育要領、保育指針を理解し、教育課程、保育課程の編成と実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その学年の終わりまでに育てたい目標を掲げるが、個人差もあるのでよく見極め、無理のないカリキュラムを立てていく。</li> <li>・5領域のねらいを毎月学年で話し合い、子どもたちの発達状況をよく考え、練り込んで行く。</li> <li>・子どもたちの自発性を尊び、一つの決めごとをする際にも、クラスの皆で考え進めていく。</li> <li>・特別な配慮を必要とする幼児への対応を慎重に進める。</li> </ul>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を掲げカリキュラムを立てるが、内容は子どもが楽しんでできる遊びをさりげなく交え、いつの間にか習得しているという形をさらに追及し研究して行きたい。</li> <li>・遊びの中で自然にも目を向け、肌で感じることができる機会を増やしたい。</li> <li>・その子の特性を見極め、尊重してあげて、寄り添いながら皆の輪に近づけたり、いろんな場に対応させるように促し、けっして、感情的にならず、本人の意を聞きだし、納得させるように諭した。</li> </ul>	<p>保育目標の立案、カリキュラムの実践では、常に振り返りが必要です。コロナ禍にあっては、定期的に立ち止まって現状を鑑み、明日に向かっての日々の計画が大切と考えます。臨機応変に対応しましょう。</p> <p>子どもの心も不安定になりがちです。子どもたちをじっくり観察し、見守り、できている小さな変化や努力をいっぱいほめ励ましましょう。</p>
保育の在り方、子どもへの対応の仕方の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気よく子どもたちと挨拶を交わし、がんばってきたことを労う。</li> <li>・着替え身支度も一人ががんばれるよう見守り、つまずいた時は一緒に声をかけ合ってがんばれる姿勢を応援する。</li> <li>・いろんなカリキュラムをする上で必要な本題に至るまでの基本を遊びの中に取り入れ、継続させる。</li> <li>・クラス内で問題点が起こると、双方の言い分を聞き、またそれをクラスの皆で話し合っ解決していく。</li> </ul>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは声を出し合って挨拶から入り、個人個人の様子から視診を兼ねて子どもと接した。</li> <li>・自分の持ち物を大事にし、正しい使い方をゆっくり覚え丁寧に扱うように声をかけた。慌てると片付けも粗末になるので、保育時間をゆったり使うようにしたい。</li> <li>・体力作り、遊びの時間を大事にして、日々継続する習慣をつけた。さらにいつもの繰り返しに少し違う内容をセットし、少し刺激を加えるよう心がけた。</li> <li>・自分の言葉で、状況や思いを伝え、それに対して疑問点を投げかけて考えさせていった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちは、同じ流れの保育の中で規則を身につけ、能力を開花させていきます。しかし、いつも同じでは飽きてしまいます。日々メリハリが必要です。「明日はこんなことをしたらどうか？」とたゆまぬ「考える保育」を実践することが大切です。</li> <li>・園でもお家でも外遊びが少なかった1学期。2学期は、お日さまいっぱい浴びて外遊びで体力アップを目指しましょう。外遊びのサーキットメニューとかがあるといいですね。</li> </ul>
保護者との連携、信頼関係、子育て支援の強化 地域住民との相互理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園日より、クラス便り、保健だよりの発行</li> <li>・HPに日々の保育の様子を掲載</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園見学、職業体験など、幅広く引き受け、園の事、子どもの事をしっかり見ていただいた。子どもたちも来客者にしっかり元気よく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部外者の方に園を見ていただく、園のオープン化はとても大切なことと思います。元気で活発な子どもたち、</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者メール配信</li> <li>・保育参観 個人懇談 保護者役員会</li> <li>・未就園児教室 保育体験 園庭開放</li> <li>・夏祭りの実施 松原市民まつり参加</li> <li>・地域の小学校との交流</li> <li>・近隣の方への配慮・あいさつまわり・お礼</li> <li>・幼年消防クラブ「発会式」「花火指導」「防火パレード」</li> <li>・高齢者施設の方々との触れ合い・節分には、鬼になってきて下さる。</li> </ul>	<p>挨拶できるよう、日頃から自発性を促したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意見や思いも役員会を通して考え、皆にその経過を周知した。</li> <li>・園の行事であったり、近隣に迷惑がかかる時は、前もって手紙を入れてお願いした。</li> <li>・地域の交流は率先して参加し、有事の際にはお互い協力できるようにしておきたい。</li> <li>・避難訓練で使う防災ずきんも、間に合わなかったらどうするということを皆で話し合い、訓練の時はそれぞれ工夫してやってみたりもした。(かばんを頭にのせたりなど)</li> </ul>	<p>挨拶のしっかりできる子どもたち、子どもたちのイキイキとした活動の様子やすばらしい掲示物、先生の応対など、見て感じて欲しいものがいっぱいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の理解なくして園運営はなりたちません。近隣の立場に立って感謝の気持ちをお伝えください。</li> <li>・今回、ズームで今までにはなかった手法でご家庭とのコミュニケーションをしました。時と場合に応じて有効にりよう活用しましょう。</li> </ul>
<p>安全管理と施設設備の点検、補修,管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正門その他の場所での防犯カメラの設置</li> <li>・防災避難訓練の実施</li> <li>・不審者侵入避難訓練</li> <li>・警察と連携した防犯教室</li> <li>・消防署と連携した、花火指導、避難訓練</li> <li>・遊具施設や危険箇所、故障のすみやかな補修</li> <li>・災害危険、特別警報等の緊急時のマニュアルの確認</li> <li>・府や市からの情報を察知し、職員皆で内容を共有し合っている。</li> <li>・園庭のゴミ拾いや掃除は、ゲーム感覚で楽しくするようにしている。</li> </ul>	<p><b>B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・警備員さんがいない時は、すぐに正門を施錠し、カメラで保護者や来客者を確認している。</li> <li>・避難訓練もいろんな時間帯を設定して行った。子どもの状況、職員の配置などを、状況に応じているか見直す必要がある。</li> <li>・消防など、専門の方の話をじっくり聞いて、防災に備えたい。</li> <li>・毎朝、子どもたちが遊具を使う前に、危険箇所がないか点検している。もし見つければ、運転手さんに相談して、修理してもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練では、マニュアルを理解したうえで、実際に子供と職員の両方の立場から実際にシミュレーションを何度も試みる事が大切と考えます。訓練→実践→振り返り→対策と改善→シミュレーションをすることで、訓練の精度を高めましょう。</li> <li>・園庭のゴミ拾いでは、楽しい気分です「きれいにする事の大切さ」を学んだことと思います。お部屋でも清掃、ロッカーの片づけ等をすすんでする子供に育てましょう。</li> </ul>
<p>子どもの健康と安全への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登降園時の視診</li> <li>・通園バスでの消毒の徹底</li> <li>・個人の成長記録(いろんな分野)をしっかりとる。</li> <li>・内科・眼科・耳鼻科・歯科検診と身体測定</li> <li>・保育環境の日々の清掃、衛生管理、整理整頓</li> <li>・自園給食での栄養バランスの改善、アレルギーの細かい対応</li> <li>・窓を開けて、換気をしっかりとる。</li> <li>・感染症が出た際の園内の消毒を徹底し、感染拡大をふせぐ 家庭でもできる消毒や処理の仕方をプリントする。</li> <li>・夏は園舎内、園庭に蚊取り線香を数か所お</li> </ul>	<p><b>B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一学期には内科・耳鼻科・歯科・眼科検診を行ない、感染症など何か不明なことがある場合には、園医の先生方に相談している。また、個人の成長記録をつけていて、気になる事があれば、すぐに保護者に伝えるようにしている。</li> <li>・葉は看護師と担任が協力して間違いのないよう管理し、子どもが自発的に飲みに行くようにした。</li> <li>・アレルギー除去食がきちんとその子どもに当たっているか、何人もの目で確認している。</li> <li>・年長組の子どもは、自分で虫よけミストを使</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どんな小さなことも見逃さない」気持ちで体調チェックや管理に取り組みましょう。</li> <li>・子どもたちは、いつもに増してテンションが高かったり、動きが活発のように思われます。室外の空気を定期的に取り入れ、換気を徹底しましょう。</li> <li>・感染症には手洗いが一番です。今はできていても次はわかりません。一人でするときも観察をし、きちんとできるようになるまでフォローをしましょう。また、園だけでなくお家での様子も聞き、家庭でも励行する</li> </ul>

	<p>き、子どもたちには虫よけスプレーやミストをこまめに使った。</p>	<p>用するので、目に入らないよう、友だちと間隔を取って使うよう、声掛けしている。</p>	<p>よう指導しましょう。</p>
--	--------------------------------------	---	-------------------

### 今後の課題

カリキュラムを立てる際に、活動時間に余裕を持たせ、それぞれの活動のプロセスを大切に扱いたい。そのためには、先生と子どもが信頼し合い、子どもからの声に耳を傾け、子どもの発想を実現する保育ができれば素敵だと思う。押しつける保育ではなく、子どもと一緒に考え、ともに積み上げていく保育を目指す。

また、配慮が必要な子どもも増えてきているので、専門知識を勉強したり、研修を受けたりしてお互いに情報交換をしながら、工夫していかなければならない。大きな胸で、子どもたちを受け入れることができるよう、先生たちも鍛錬が必要だと思う。

子育てをしていくのに、園だけ、家庭だけに頼るのではなく、両者の取り組みや考え方を共有しながら、共に尊重し合い、同じ方向を目指し、大切な幼児期を過ごしていきたい。

### 今後の課題について (平田先生コメント)

・コロナ禍にあって、子供たちの活動は余儀なく制限されています。外に遊びにいけない。お友達との距離をはかる、マスクをする、話しをするときは・・・など、フラストレーションがいっぱいです。

このような状況においては、子どもに寄り添い一緒にいていっぱい遊び、お話を聞いてあげ、「見守られている」「私のことを思ってくれている」という気持ちを醸成し、信頼関係のより太いパイプを作ることが肝要と考えます。

・新しい先生もキャリアのある先生もさらに良い保育を追求するために、保育者同士のクラス見学をぜひ実践してください。改善すべきところは改善し、お互いに良いところを指摘しあう等、保育向上のコミュニケーションをいっぱい図りましょう。

(株)スマートキッズ 平田 匡邦 